

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年3月22日(2012.3.22)

【公開番号】特開2010-200848(P2010-200848A)

【公開日】平成22年9月16日(2010.9.16)

【年通号数】公開・登録公報2010-037

【出願番号】特願2009-47112(P2009-47112)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

【F I】

A 4 1 B 13/02 S

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月2日(2012.2.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

カフ補助弾性部材 3 9 の伸長応力は、第 2 シート 7 1 の伸長応力よりも大きく設定され、第 2 シート 7 1 の収縮をカフ補助弾性部材 3 9 で補っている。すなわち、第 2 シート 7 1 は、それ単体では大きな伸長応力を得ることができないことから、別途カフ補助弾性部材 3 9 を取り付けることによって、カフ部材 3 1 の縦方向 Y への伸長応力を大きくすることができ、確実に、カフ部材 3 1 を身体側に向かって、内面シート 2 1 から離間させることができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 7】

図 5 は、漏れ防止カフ 3 0 が形成される工程と、シャーシ 2 0 に漏れ防止カフ 3 0 が取り付けられる工程とを示す。

図 5 を参照すると、第 1 の工程 (A) では、第 1 シート 6 1 を形成する所定幅の第 1 ウェブ 6 0 が、図示しないローラから機械方向 MD に搬送される。

第 2 の工程 (B) では、搬送された第 1 ウェブ 6 0 が、機械方向 MD に直交する交差方向 CD の長さ寸法を二等分する第 1 仮想中心線 r - r に沿って切断される。このように切断されて、第 1 ウェブ 6 0 から、二条の第 1 シート 6 1 が形成される。